

令和元年度 第 5 回 南砺市公共施設再編計画改訂方針検討委員会 会議録

日 時 令和 2 年 1 月 23 日 (木) 午前 9 時 30 分～11 時 02 分

場 所 福野庁舎 201 会議室

出席者 ○委員 8 名

高山純一委員 (委員長)

松本久介委員 (副委員長)、

岡島奈美子委員、尾田慎一郎委員、岡部智美委員、浅田直彦委員

<欠席>西村大仁郎委員、浦井啓子委員

○事務局 5 名

柴市長政策部担当部長、石崎行革・施設管理課長、森施設再編係長、山田副主幹、

荒井副主幹

傍聴者 1 名

(開会) 午前 9 時 30 分

【石崎行革・施設管理課長】 それでは、第 5 回公共施設再編計画改定方針検討委員会を始めます。(資料確認) それでは高山委員長からご挨拶をお願いします。

【高山委員長】 おはようございます。今回が第 5 回ということで一応最終回の予定をしております。前回少し時間をかけて項目ごとに施設の中期、長期 (前期)、長期 (後期) というかたちで 10 年ずつ 3 つに分けての削減計画、どれだけ残すか、どれだけ削減するか、民間に移譲するかも含めての計画案を作っていただきました。それに基づき事務局で財政シミュレーションをした結果を報告してもらうことになっております。限られた時間ですが最終確認をしていただければと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いします。

【石崎行革・施設管理課長】 それでは、協議事項に入っていきたいと思えます。議事進行につきましては委員長よろしくをお願いします。

【高山委員長】 それでは、協議事項 1) と 2) の 2 つを準備しております。まず、1) 歳入・歳出全体ベースでの財政推計について事務局から説明をお願いします。

〔事務局説明 (資料 3②、資料 3②追加資料)〕

【E 委員】 複式学級に該当するのは、例えば小学校で 4 人と 4 人しかいない学校が早晚出てくるのですが、2 学年合わせても 8 人にしかならないような場合はどうなるのですか？

【森施設再編係長】 3 学年での複式学級は想定されていません。

【E 委員】 それは当然そうですが要するに 15 人を下回ったらどうなりますか？

【森施設再編係長】 15 人以下は複式学級で (人数の) 下限は特に設定されておりません。

【E 委員】 この 0～14 歳までの資料ですが、市の合計は無いのですか？市が言われている 250 人は産まれ続けるように頑張りたいというのは理論的に可能なのか。参考のために見たい。あと、この表は 1 歳平均だけでも良いのではないですか。

【石崎行革・施設管理課長】具体的に2045年度でしたら185人（1歳平均）になります。

【E委員】2025年＝前期最終年の令和7年、あと2030年（長期・前期の中間）＝令和12年と2035年（長期・前期の最終年）＝令和17年はどうですか？

【森施設再編係長】2025年は291人です。

【E委員】それは14歳まで入れているから250人を上回るでしょう。実際1年にどれくらい産まれてくるかというところはどうでしょうか。

【高山委員長】0～4歳までの数字を5で割るのが近い数字になりますね。

【森施設再編係長】2025年の0～4歳の合計を5で割ると252.6、2030年ですと224.4です。

【E委員】ちなみに14歳までの1歳平均は？

【森施設再編係長】2025年は291人で、2030年は258人です。

【E委員】それでは長期・後期、令和27年は？

【石崎行革・施設管理課長】2045年、令和27年度の0～4歳の1歳平均は163.5人です。

【E委員】2060年で福野地域より福光地域の方が年少人口は多いという見込ですが、どうでしょうか。いずれにせよもっと加速度的に子どもは減ると思います。

【高山委員長】いかがですか、ほかに何か？このシミュレーションを見ると財政というのは、地方交付税を含めて人に物凄く大きく影響するということですね。何がなんでも長生きしてもらわないといけないということじゃないですか。

【石崎行革・施設管理課長】長生きもそうですが、子どもがたくさん産まれるとか、転入していただくということも大事で、人がすべてです。

【高山委員長】この頃になったら社会も相当変わっているのではないのでしょうか。今から40年後、2060年ですし

【C委員】働き方も大分変わっているでしょうね。

【A委員】今の人口シミュレーションですが、（社人研や人口ビジョンなどがあるが）どちらで見て、少し希望的観測をもって、これくらいだとしか今は言えない、というふうに結論を出すしかないだろうと思います。それで本当に良いのかということは正直どこまで許されるかというのは分からないですが、希望が無いと今後まちづくりに頑張っていこうという気持ちも無くなってしまいます。是非ともその希望的観測、色の着いたものを見てもらった方が、夢も希望もある地域であり続けられるのではないかと思います。意見として厳しいことばかり言ってもどうなのかなと思います。

【E委員】人口推計では社人研の数字と南砺市の人口ビジョンはどんどん乖離していくけど、それを今ここで、そんなことはないだろうと議論しても駄目なので、市が目指すシミュレーションをベースに財政計画も見直された訳だから、これを否定して議論するというは有り得ないですよ。

【石崎行革・施設管理課長】財政シミュレーションは社人研の数字を基にしております。その上で、人口ビジョンに基づく人口推計だと（1年あたり1.1億円の）プラスになるという結果を今回示しておりますので、そのようにご理解いただいた上でご検討願います。

【E委員】一方、議会などで子どもが毎年250人ずつ産まれることを目指すと言っている中で、この委員会では学校・保育園・図書館・児童館など、様々な施設のことを社人研の推計に近いイメージで議論している訳で、見解や数字の出し方にブレがあります。250人を目指すのは良いですが、そうならない現実、社人研の言っている通りになるかも確かでは無いですが、この委員会では改訂方針を出す令和27年まで、そのあとのこと、2060年までのことは考えても無いし、シミュレーションもしていない訳だから、そこまで議論するつもりは無いけど、少なくともこの令和2年から27年、25年先までは、子どもが250人産まれ続けると片方と言われてしまったら、この委員会での小学校を減らす議論が矛盾してくる訳です。そうはならないだろうとハッキリ言わなければいけない。そうしたいという気持ちは分かりますが、それはどう議論すべきなのでしょう。

【石崎行革・施設管理課長】本委員会の議論の中では（1学年あたり）284人を基に計算した数字で、その時は4校程度となっており、そのとおり4校と設定されましたので、元々将来的な人口を1学年250人として考えておられません。

【高山委員長】ただ、2020年時点でこの計画ですけど、5年後にまた見直さなくては行けないし、当然10年後にもまた見直して、要は今立てた計画どおりに減っているのかどうか、人口推計も含めて作りっぱなしでは無いはずなので、それはキチッとやっていかないと行けないですね。ほか、いかがですか。

【E委員】義務教育学校や複式学級を取り入れながら8つの町と村に少なくとも学校を残さないと地域の人が寂しがるなんてことを言われるのですが、それは何年先までのことを言っているのか分からない。1年間に1人しか子どもが産まれない地域に小学校と中学校が10年後も20年後も存在するなんてことは複式学級以前の話で有り得ない。だからそういうことを市役所の内部で、こちらではこういう人がいて、こちらにはこういう人がいる、ではなく、これ（提言書）を私たちは堂々と示す訳ですから、これに沿った議論を市役所内部でキチッとしてもらわないと、「イヤこれはこれだ」とか片方で好きなことを言っていたら物事の議論として話にならない。やはり頭は冷静にしながら議論していただかないと、矛盾があちこちに生じることになる。計画をベースにしながらやるべきことをやる。特に市営住宅は現に入居者がいるので、5年先くらいの状況を読まないといけない施設で他のハコモノとは違う。また、老朽化の著しい住宅の家賃は1万円ぐらいで、新しいところに行くに連れて家賃は高くなっていく。一人暮らしの高齢者は家賃1万円を払うのに精一杯で、そこを頼りにして住んでいるのに2~3万円のところに移ってくれという訳には行かない。そういう厄介な課題もある訳だから、やはり決まったことは先読みしながら粛々とやるということが大事。

【高山委員長】今年度、全体のトータル（の数）はここで決めて、来年度個々の施設で、譲渡するもの、閉館にするもの、統合するもの、色々の計画を立てますよね。それは全庁に共有さ

れていくのですか。

【森施設再編係長】はい、現在の再編計画も共有しておりますし、進捗管理はこちらですしておりますが、四半期ごとに進捗状況を報告しています。

【E委員】南砺市は公共施設再編に随分前から取り組み、前期も含めて計画を打ち出し実行に向けて取り組もうとしている。今回第2期目の計画を作っているというのは県下の自治体に比べて危機感を持って対応している。新聞を見ていると、ようやくいろんな市町村が公共施設の再編をやらなくては駄目だという立ち位置に立っているような気がして、ある意味南砺市は先行している。だから自信と確信をもってやるべきことをやるという事で良いのではないのでしょうか。

【高山委員長】逆に言うと各施設を管理する部署が責任を持って、ここで立てた計画、来年度立てる計画を実行に移していく義務がある訳で「自分の所で考えた計画では無いし自分たちでは難しい」なんて言っていたらおそらく実現しない。

【E委員】一方で地域づくり協議会の拠点である交流センターは残すと決めています。それで、現実問題として耐用年数が到来しているものが29施設の中にあるじゃないですか。残すと決めたということは老朽化の著しいものについては、今と同じ面積のものを建てるかどうかは別として建て替えの経費等にかかるので、それについてもやるべきことは一方でやるけど駄目なものは駄目。残すと決めたもので老朽化が著しいものは改築なり更新なりするということによる方がいいですね。

【高山委員長】シミュレーションでは建て替えなりの費用は見てあるのですよね。

【森施設再編係長】更新費用は見込んでいます。ただ、現実にはやる時は単に減築して建て替えとかもあるかもしれませんし、民間施設も含めた他の施設との複合化とか、そういうことを検討させていただきます。

【E委員】次の協議事項ですが、各施設の「検討の根拠」の欄、ここに書き込まれた内容を読み上げながら一つ一つ確認していきませんか。耐用年数が来たものから潰すとキチッと書かれているものといないものがありますし、数字だけが一人歩きしてもいけません。この欄の注釈が大事だと思います。

【高山委員長】分かりました。1)の協議事項は、もうよろしいですか。では2)第2次南砺市公共施設再編計画の改訂について、提言書案がありますので内容説明をお願いします。

〔事務局説明（資料7）〕

【E委員】1ページの最後の4行中「8地域の実情等について配慮していませんので」というのは誤解を生む表現じゃないですか。8地域に学校を残さないといけないという議論もある訳で、そういうことを考えていないという意味では合っているかもしれないですが、文面的にこれでよろしいですか。

【高山委員長】全然考えないということではなく、多少は考えていたと思うのですが。全く考えていなかったらこんなに揉めていないですよ。

【E委員】それらも考えながら、だけど8地域に全部体育館が無いといけないとか、そんな無茶苦茶な論理は出来るはずも無いし、出来ないことは出来ないとは言いましたが、事情は考慮しました。考慮したけど減らすものは減らさないといけないということで、配慮していません、と言い切ってしまうのはどうなのでしょう。

【高山委員長】個々の施設も、どれだけ耐用年数があるか見てきている訳ですから、どういう表現が良いですかね。

【E委員】ここ（の議論）については最後にしましょう。

【高山委員長】では、A分類から

〔事務局説明（資料7・2ページ「A分類」）〕

【E委員】保育園の「定員を満たさなければ統合する」の「定員を満たさなければ」というのはどういう意味ですか。それぞれの保育園には定員がありますが、入ってくる子どもの数によって職員の数も減らしたりして運営している訳でしょう。「定員を満たさなければ」という表現では誤解を生むので何か良い表現は無いのでしょうか。

【A委員】運営するために必要な最低限の基準を満たさなければいけないという意味であって、定員では無いですよ。

【石崎行革・施設管理課長】2つの施設で1つに入れるくらいになればという意味です。

【E委員】2つ合わせての定員を受け入れるキャパがあり、そちらに入れるようになれば小さいところを統合するということですか。そういう議論でしたか？

【石崎行革・施設管理課長】もし違っていけば、ご指摘のとおり直したいと思います。

【森施設再編係長】第3回で議論いただいたのですが、その時の考え方は「隣接する保育園の入所者数がいずれかの園の定員を下回った場合には統合を検討する」です。

【高山委員長】隣接する保育園の（入所者数の）合計ですよ。

【石崎行革・施設管理課長】福野地域には近い場所に保育園が2つあるということを受けて、今のような話をされていたというふうに思います。

【E委員】城端には1個しかない。井口も含めれば隣接していると言えば隣接していますが、ここで言う隣接とは、どこまでの事を言うのでしょうか。

【石崎行革・施設管理課長】最初の資料にはそう書いてあり、議論の中でそのような話があって、このように書かかせてもらいましたが、これが不適切ということであれば修正します。

【E委員】井波はいくつでしたか。

【A委員】2つです。

【E委員】井波が2つで、福野に2つ、福光が3つだから、複数あるところなら隣接すると読み切れますね。

【高山委員長】提言書案にも「各地域で原則」とありますし

【石崎行革・施設管理課長】「入所者数が定員以下となれば」の方が分かりやすいでしょうか。

【高山委員長】この表現だと省略し過ぎていて先ほどのような意図が汲めないですね。

【E委員】ここは少し意味が良く分からないですから修正をお願いします。

【高山委員長】ほかはよろしいですか。それでは次B分類をお願いします。

〔事務局説明（資料7・3 ページ「B分類」）〕

【E委員】児童館で「単独施設としては保有しない」とあるが「更新しない」ではないでしょうか。

【高山委員長】今、児童館は単独施設になっているのですか。

【E委員】ほとんど単独です。福野の児童館は老朽化が進んでいて令和7年まではそのままいくけど、令和12年までに耐用年数が来たら、どこかに統合しますよという話です。将来（長期・後期）の1個というのは、どういう見方でしたでしょうか。

【森施設再編係長】残すというか（令和27年までに）耐用年数がまだ到来しないからです。

【高山委員長】原則的に児童館は複合化していくということでしょう。

【E委員】耐用年数が到来するものから順番に減らしていくのですが、単独施設で保有しないという言葉が少しキツイと感じます。単独施設で更新しないの方が良いのでは？

【高山委員長】意味は同じですよ。

【A委員】要は更新しないけど、施設の機能としては残したいから、その部分は複合施設に入るなど、地域に機能がちゃんと残るのだという意味が伝わればそれで良いと思います。

【C委員】「単独施設として保有せず他施設との複合化を図る」というふうに文章を繋げてしまえば良いと思います。

【高山委員長】（さらに）「機能は維持する」で（文章を）切れれば良いですね。

【E委員】上から4つ目の介護福祉施設ですが、現有13が中期、令和7年までに一挙に3になります。残さない10施設は例えばどんなものでしょうか。

【森施設再編係長】 デイサービスセンターとか特養などの譲渡予定施設です。

【E委員】 今は市の公共施設になっていて、潰さずに譲渡を目指すということですが、可能性は高いのか厳しいのか、あと5年以内に譲渡が成立しないといけないですし

【森施設再編係長】 そもそも特養とデイサービスセンターは計画上、短期で譲渡を目指す施設に位置づけられており、令和2年度中の完結を目指してやっております。

【高山委員長】 ほかよろしいですか。

【E委員】 市営住宅のところの書き込みはこれでよろしいですか。

【高山委員長】 今、特定公共賃貸住宅になっているのは、(民間から)借りてなっているものですか、それとも市が保有しているものですか。

【森施設再編係長】 保有しています。

【高山委員長】 市で保有しなくなるということは譲渡を目指すということですか。

【森施設再編係長】 再編の方向性は決めておりませんが、現計画で言えば譲渡を目指します。譲渡が叶わなければ貸付、貸付もままならないようでしたら解体という段階を踏んだ再編の方向性を踏襲することになるかと思えます。

【高山委員長】 これは比較的新しい住宅ではないのですか。

【森施設再編係長】 新しいものもあります。

【高山委員長】 古いものなら方向性として解体もありだとは思いますが

【E委員】 令和7年までの目標を9としているのですが、実際に内部で議論したら、これは厳しいなどと言って直ちに(計画が)崩れるようでは拙いのですが、24がいきなり9になるという考え方はどのようなものでしたか。

【石崎行革・施設管理課長】 基本的に、特定公共賃貸住宅は(行政の所有する施設としては)要らない。公営住宅は残さないといけないが行政が保有するのではなく民間のものを借りれば良いという話であったかと思っております。

【高山委員長】 譲渡といっても結局は値段次第でしょうね。タダならみんな欲しいと言うかもしれないですが

【石崎行革・施設管理課長】 そうですね。議論の際には雇用促進住宅の話が出ており、そういう中で今のような結論になっております。

【E委員】 雇用促進住宅は民間が譲渡を受けたのでしょうか。これは前期にも相当減らすことになっていたのでしょうか。それとも今回初めてですか

【石崎行革・施設管理課長】今回初めてなので住宅はかなり踏み込んだと思っております。

【高山委員長】頑張ってくださいしかありませんね。ではC分類についてお願いします

〔事務局説明（資料7・4 ページ「C分類」）〕

【E委員】グラウンドですが、議論したとおりグラウンドとしてはそのまま市が保有すけど、附属している管理棟やトイレ、資材置場とか、こういうものをどうするかという事で、グラウンドを減らすとか売却してどうこうするという議論では無かったですよね。

【森施設再編係長】野球場、グラウンドについては、建物のことを議論していただいて、機能については継続するという方向性だったかと思っております。

【E委員】機能は継続するということが書かれていないですよね。書かないと、公園も同じで、公園（の機能）は維持するけど、そこに附属するトイレや管理棟みたいなものをどうするかという話だったので

【石崎行革・施設管理課長】機能は残すという書き方に修正いたします。

【E委員】図書館ですが、今は平の春光荘を入れて5つあるのですよね。それを令和7年までに4にするというのは、どこの事をイメージしているのですか。

【石崎行革・施設管理課長】具体的な施設名までは検討されておりませんが

【E委員】春光荘は残す、井波もしっかりしている、福野もヘリオスの中にあるというので、事実上、（これらは）複合化（していくということ）ですよね。

【森施設再編係長】図書館が最後1なのは、各地域には図書コーナー的なものは残すという

【C委員】機能は残して建物は無くすということをしっかり謳っておかないといけない

【E委員】それは耐用年数が到来するというのも理由の一つですよね。

【A委員】児童館と同じような書き方にした方が良いかもしれないですね。

【E委員】それと、ここで問題になっていたのは、南砺市に中央図書館がどうしても必要だという事。だから1つ残すのですが、福光の中央図書館は1階にあり、2階が貸オフィスで3・4階が市営住宅になっているじゃないですか。あれの耐用年数が短い間に来るので、その場合、中央図書館機能をどこかに新築しても構わないから図書館として残すということ。これは複合施設ではないのですか。

【C委員】第4回の時に図書館については議論したので、思い出してもらえたら良いのですが、機能は残して集約は1つにしようという話でまとまりました。書き方だけ児童館と似たような書き方で直してもらえれば良いと思います。どこかと複合化して機能は残す方向で

【A委員】ただ、シンボリックな中央図書館は1つだけ残しましょうということですよ。



【E委員】新築も有り得るという事でしたね。残りは耐用年数と共に複合化を目指す。

【C委員】新築も有り得るし、今ある施設の耐用年数を延ばすのもあるという話でした。

【A委員】「施設維持は中央図書館のみとし残りの施設は順次複合化を目指す」という書き事でよいのではないのでしょうか。

【E委員】だから、人口5万人に対し利用者が27万とか、そんな前置きは要らない。そういう話ではなく、南砺市に（中央）図書館（1つ）は絶対必要だという認識はあるので、今ある5つは耐用年数到来と共に順次複合化して分館的な図書館として維持すると。

【A委員】以前に図書館委員会のような場に出た事があるのですが、デジタル化とか、いろんな所から貸出の注文が来るとか、そういう体制を目指されていたので、図書館もどんどん変わっていくのだろうなと思って聞いていたのですが

【E委員】福野は割と耐用年数が早く来るのでしたか。

【C委員】福野はヘリオスと一緒になので、ああいうかたちにしてしまえば良いという議論だったと思います。

【石崎行革・施設管理課長】それでは児童館と似たような書き方に修正させていただきます。

【高山委員長】ではD分類です。

【石崎行革・施設管理課長】前回、十分な時間が無く、走った部分もありましたので、そこら辺も含めてまた議論いただけたらと思います。

〔事務局説明（資料7・5、6ページ「D分類」）〕

【E委員】4ページの公園ですが、利賀に新しくキャンプ場みたいなものを作られたじゃないですか。あれはここに入っているのですか。

【森施設再編係長】入っていません。あれ（利賀国際キャンプ場）は、その他観光施設です。

【E委員】公園の方で触れられているキャンプ機能というのは該当しないのですか？

【森施設再編係長】そちらは、つくばね森林公園が該当します。

【高山委員長】大体よろしいですか。では、戻りまして最初の端書きはどうでしょうか。

【柴市長政策部担当部長】例えば、下から3行目の「最終的な保有規模を決定する際には」という文言を、「このことから」のあとに入れ、続いて「施設で提供する行政サービスの地域への貢献度や市が目指すべき施策、地域の実情等を踏まえて将来世代の子どもたちにより良い南砺市」云々という表現でいかがですか。

【高山委員長】そうですね。それで良いと思います。

【E委員】それで分かり易くなりました。全部が全部に五箇山だからこうだ、村だからこうだというような配慮は、必ずしもした訳では無いのだけど、一方で配慮しているところもある訳ですから

【柴市長政策部担当部長】とにかく、この委員会を経て、第1回の時にも高山委員長が冒頭で言われたように、あくまでもこの会ではシビアな数字を示させていただくと、ただし、そこにはこういったような文言のことが、まだ加味されていないので、それは当然、行政内部で話をして、住民にも説明をしてという流れでしたので、こういうような表現をさせていただきたいということではと考えております。

【E委員】そしたら提言したあとはA~D分類まで全てに担当課があつて、実際に管理運営している訳ですから、この数字は厳しいとか内部でやられて構わないと思いますが、なるべく提言案の削減する目標に配慮されながら、前期・中期・後期のバランスも見て、前期のものが中期にずれ込むとか色々あつても良いと思います。ただし、数値目標を達成しないと、達成したとしても赤字になるという流れが将来的にあるということも踏まえて、著しく提案と異なるような骨抜きのもの、役所内部で議論しておいて、総論賛成各論反対のようなことにならないようにはしてもらいたいです。

【柴市長政策部担当部長】数の議論もありますけど、やはり面積です。そこも十分踏まえずに数だけでいってしまうと、市民に対して拙い部分も出てくるので、そういったことを十分考慮に入れて、この委員会での議論を踏まえて検討していくという事にしないと、その辺はご意見いただきたいと思います。

【高山委員長】少し気にしているのは、この財政シミュレーションは、最終の令和27年度末まで（の長期スパン）で考えているのですか。年度ごとにされているのですか。

【森施設再編係長】年度ごとにやっております。

【高山委員長】そうすると中期の終わりでの黒字か赤字か、長期の前期末での状況というのも示しておいた方がよろしいのではないかと思います。

【森施設再編係長】どこの時点から赤字になるかということでしょうか。

【高山委員長】トータルとして30年間でこれだけの赤字ということは示されているのですが、中期末の令和7年度末にはどれくらいの黒字か赤字か、令和17年度末には黒字なのか赤字なのかということも示しておいた方が良いのかなと思います。

【石崎行革・施設管理課長】ちなみに5ページのグラフの折れ線が歳出で、棒グラフが歳入になっておりますので、これは5年スパンですが、その時点でどうなるかということが分かります。基本的には前半部分には貯金があつて後半に行くと貯金が無くなりますという、そういうシミュレーションになっています。

【高山委員長】これを見たら一応分かるようにはなっているのですね。

【B委員】この赤字幅が拡大した要因の中で、令和2年（まで）の再編予定のもの、介護福祉施設などがうしろ（中期・令和7年度末まで）にいつてしまっていて、今年度に譲渡が出来て、もう少し早く達成するものも出てくるでしょうから、あまりネガティブな発想ばかりではないということもあると考えてもよろしいでしょうか。

【森施設再編係長】現実的に今ご検討いただいた施設の中に譲渡の方向で決まりそうなものもあります。

【石崎行革・施設管理課長】観光施設は、かなりたくさん短期の間に譲渡ということになっておりましたので、それはなかなか実現できていないのが現状です。

【森施設再編係長】短期で譲渡とされていた施設は、産業系の施設が多いです。

【C委員】なるべく、これから個々に議論に入っていくと思うのですが、年度ごとにこれくらいの赤字になっていきますというのは最初に示さないと、「どうにかなるんじゃないか」、「今黒字なのになぜ赤字の話をするのか」という市民はまだ多いと思うので、そこを根底に置いて議論をしてもらえたら、良い方向に向かっていくのではないかと思います。

【B委員】バッサリバッサリ切る方向の話ばかりで楽しい話が全然出て来ないという印象があります。子どもを3人以上産もうという施策もされていますが、やっぱり3人以上産んだ方が得だねとか、そういうプラスになること、体育館とかグラウンドの話の中でも、南砺市は健康寿命がワースト1というマイナス部分があるので、それらを活かした健康づくりをしていきましょうというプラスのものを付け加えて、(利用)人数(の水準)を達成していくとか、(施設を)活用しましょうというプラスαで楽しい話も付けてもらえると、あまり冷たいなというイメージも無くなるのですが

【石崎行革・施設管理課長】ありがとうございます。自分も公共施設再編の話に来てくださと言われて行く事があるのですが、やはりこういう暗い話ばかりさせていただくので、人口ビジョンの話とか総合戦略の話とか、出来るだけ最後は明るい話で終わろうと努めております。行政改革という仕事自体、どちらかというあまり楽しい話はさせていただけないですね。

【E委員】それで、こういう数字が市の広報に載ったりホームページにアップされたりしていくと思うのですが、例えば、体育館とか野球場とかグラウンドとか公園とか観光施設とかがある中で、似たようなものがあっちに計上されていたりこっちに計上されていたり。グラウンドは1つと書いてあるけれども1つにするのは機具の保管庫等のハコモノのことだというのが、ホームページにアップしただけだと分からない。体育館でも昨日カローリングの大会に行った際に、カローリングはフロアがベコベコしていたら競技にならないと言われました。だから耐用年数が来て使えないものを壊すのは仕方ないとしても、それまでに体育館としての機能を維持するために金がかかる。床を張り直すというのは結構金がかかるけど、カローリングをやっている人たちはそれが命だと言う。だからやはり色々あるなあと思うのです。高齢者がカローリングをやっている体育館がなくなるとなった時に小中学校の体育館があるから良いと言う話だけど、高齢者が体力増強やボケ防止に取り組んだり、友達と楽しんだりするのは日中ですよ。日中となると小中学校の体育館は利用できません。一部にそういう不安もある。体育館はゼロにする訳ではないのですが、今ある19を減らす時にどうイメージするか。これを広報する時に、もう少し分かりやすい表示の仕方が無いか、これでは括り過ぎなので分かり易い表記にしてほしい。文化センターも城端と井波と福野の事を言っているのかと思えば8つもある。

これはどことどここの事か、ここら辺が一般市民の誤解を生むところで、8つを2つにするというのは何の話なのかとなりかねないので何か上手い方法が無いものでしょうか。

【石崎行革・施設管理課長】前の総合管理計画と再編計画の時には、施設の一覧も出して、この分類には何が該当するかということを示しております。

【C委員】それはホームページに載せる時にも閲覧できる状態に出来ますよね。

【森施設再編係長】出来ます。今もそうしています。

【C委員】ホームページには情報が多く載せられるから

【E委員】広報には載せられなくてもホームページには、ここでいう体育館がどことどこかは一覧で出せるということですね。

【高山委員長】では、以上でよろしいでしょうか。事務局、これで大丈夫ですか。

【石崎行革・施設管理課長】はい、そうしましたら数の方もこれでよろしいでしょうか。それで細かい修正については委員長と調整させていただくという事でよろしいですか。あと提言書を市長に渡すことについてもあわせて調整させていただきますので、よろしくをお願いします。

【E委員】今後の日程に第6回とあるのはどういうことでしょうか。

【石崎行革・施設管理課長】もし今日、数の議論があつて、また次回という事になれば、そういうことも考えておりましたが、この内容で良いという事であれば、このかたちで最終の提言書をまとめさせていただきます。

【高山委員長】それでは、以上をもちまして南砺市公共施設再編計画改訂方針検討委員会を終了したいと思います。長い間、5回に渡りご協力ありがとうございました。

【石崎行革・施設管理課長】ありがとうございました。それでは最後に柴市長政策部担当部長からご挨拶申し上げます。

【柴市長政策部担当部長】皆さま方には、今ほど高山委員長からもありましたように、5回という長期に渡り色々ご議論をいただき、方向性を出していただきまして、大変ありがとうございました。今後につきましては、先ほども申し上げましたとおり、面積的なものでありますとか、専門的な観点、地域の実情といったものを踏まえながら各論に入っていくということになります。当然市民に対する説明の中で色々議論も出てくるだろうと思いますが、また皆さま方にはご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお祈りを申し上げます。閉会の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

(閉会) 午前 11 時 02 分